

米軍横田基地所属垂直離着陸輸送機  
CV-22オスプレイの墜落事故に対する抗議決議

本年、11月29日午後2時40分頃、米軍横田基地所属の垂直離着陸輸送機CV-22オスプレイ1機が、山口県にある岩国基地から嘉手納基地に向け飛行中、鹿児島県屋久島沖合で乗員8人全員が死亡する墜落事故が発生した。

CV-22オスプレイ部隊は、嘉手納基地を拠点とする第353特殊作戦航空団の傘下にあることから、訓練のため、鹿児島沖を經由して頻繁に沖縄に飛来している。複数の目撃証言によると、事故機は両翼にある二つのエンジンのうち一つから火を噴き出し墜落しており、機械的な不具合が原因である可能性が指摘されている。

今回の墜落事故を受け沖縄県などがオスプレイの飛行停止を求める中、報道によると、県内では12月4日までに普天間基地で74回、嘉手納基地では18回の離着陸が確認されている。開発段階から墜落が相次いでいるオスプレイは、米国では専門家から安全性への構造的欠陥が指摘されており、オスプレイの訓練を強行し続けることは看過できない。

よって、本町議会は、町民の生命、財産、安全を守る立場から、米軍及び関係当局に対し厳重に抗議するとともに、下記事項を速やかに実現するよう強く要求する。

記

- 1 事故原因が究明され、有効な再発防止策が講じられるまで、オスプレイの飛行を直ちに停止すること。
- 2 事故原因の徹底究明、関連情報の公開を速やかに実施すること。
- 3 米軍機の住宅地上空での飛行と訓練の中止など、抜本的再発防止策を講じること。
- 4 嘉手納基地の負担軽減を速やかに実施し、機能移転・訓練移転を図ること。
- 5 日米地位協定を抜本的に改定すること。
- 6 全ての在沖米軍基地を整理縮小し、段階的に撤去すること。

以上、決議する。

令和5年12月12日

沖縄県中頭郡北谷町議会

あて先

米国大統領 米国国防長官 米国国務長官 駐日米国大使  
米インド太平洋軍司令官 在日米軍司令官 在沖米四軍沖縄地域調整官  
嘉手納基地第18航空団司令官 在沖米国総領事